

# 水上ひろし

小金井市議会議員(4期)

みずかみ洋志

## コロナ禍から命・くらしを守る

市議会議員として4期16年。保育や子育て、医療、介護など、一連の社会保障切り捨てと闘い、市民生活を守るために必死にとりくんできました。新型コロナの感染拡大は、社会保障切り捨てのまがいやうきぼりにしています。いま、「市税が払えず厳しく取り立てがされ、差し押さえの通告がきた」など、市民の悲鳴ともいえる声が寄せられます。この声になんとしても応えるために全力をあげます。

プロフィール●1960年生まれ。北海道せたな町出身。明治大学文学部卒業。都立特別支援学校寄宿舎勤務などを経て2005年小金井市議初当選。以来4期連続当選。現在、市議会厚生文教委員、議会運営委員、行財政改革推進調査特別委員会副委員長。日本共産党小金井市議団長・幹事長。家族は妻と1女1男、趣味はスキー、料理

## 日本共産党の市議団長

# あなたの声で市政動がす

## 水上ひろしの原点

障がい児の学校で働いた20代  
子どもの背にある重い現実  
「社会を変えなければ」

特別支援学校での行事の一コマ

水上さんは大学を卒業し、都立養護学校(現在の特別支援学校)の寄宿舎で働きました。病虚弱の子どもを対象にした全寮制の学校で、ぜんそくや肥満、多動、脳損傷などの病気をかかえた子どもたちが学んでいました。そこで水上さんが直面したのは、親の愛情不足で身長伸びが止まってしまった子、家庭の事情で2年間で3回も名字が変わる子、など、子どもたちのおかれた厳しくも重い現実でした。さらに毎日のおこる難題——「毎朝、今日も行くぞ」と決意して出勤していました」と、水上さんは当時を振り返ります。

「子どもたちのためにも、その背景にある社会を本当に変えなければ」——この思いは、水上市議にとって、今でも、子育て支援や福祉の充実に粘り強くとりくむ原動力になっています。



日本共産党 小金井市議会議員(4期)

## 水上ひろしのお約束

- PCRの社会的検査を、さらに保育や学校の教職員など必要とする職種の人に拡大
- 必要な人が検査を受けられるよう体制の拡大
- コロナ禍で生活が大変な方への親身な納税相談や生活支援。生活保護などの改善
- 市内中小業者、商店への支援強化

### 東小金井駅北口のまちづくり 一緒に取り組んでくれた水上さん

——梶野町 河邑哲也さん

東小金井駅北口・市民施設建設計画の推進を求める運動に、水上さんは一緒に取り組んでくれました。市民施設建設の実現へ、水上さんに期待します。

- 高すぎる国保税の軽減、子ども分はゼロに
- 学校トイレの洋式便器化率向上
- ココバスのサービス基準を守り拡充を
- 東小金井駅・市民施設建設計画の早期実現
- 庁舎建設のコストダウン、納得のいく建設を
- リサイクル事業所の早期再開

コロナ・暮らしなどの思いを聞かせてください  
アンケートはこちらから→→→



コロナ禍から命・暮らし、断固守る

# 8度にわたり市に提案

# 介護施設などPCR検査実現



生活救援のため市民団体が行う困りごと相談会に参加する水上さん

新型コロナウイルスの感染拡大が深刻です。いかに市民の命とくらしを守るか？、水上さんは共産党市議団長として、市長にたいし8度にわたり対策を提案し、市議会でも対策の強化を訴えました。特に焦点となったのはPCR検査の拡充。日本共産党は抜本的な検査拡充を求めましたが、議会では自民党政権に追従して、検査の拡充を問題視

するかのような意見までありました。市政も検査拡充には消極的。しかし、都民、市民の世論が政治を動かし、ついに、小金井市は都の制度も使って、介護施設や障がい者施設の職員や入所者に「社会的検査」を行うことになりました。また昨年6月には4市共同のPCR検査センター、12月には市内に休日発熱外来センターの設置なども実現しました。

日本共産党 水上ひろし



子育て世代の心強い味方  
学童の活動でがんばった水上さん  
——梶野町 馬場次郎さん

水上さんとは、学童保育連絡協議会で民間委託問題などに一緒に取り組んできました。子育て支援の充実を期待します。

# 「夢は子育て一番の街」初心貫く 公立保育園を守る 中3までの所得制限を撤廃へ 医療費助成

障がい児の学校で働き、子どもが背負う重い現実を知り、「社会を変えなければ」と強く考えるようになつた水上さん(詳細は最終ページ)。小金井で二人の子どもを育ててきました。子どもの医療費無料化は、一貫してとりくんだ課題です。制度拡充へ、繰り返し議会に条例案を出すなど奮闘。否決されてもあきらめないなか、他党派からも現制度の改善を求める声が出始め、18年12月に、一緒になって提出した条例案が可決されました。その結果、小学校3年生まで所得制限が撤廃され、今年

は小学校6年生までさらに拡大されます。市長は今後中学校3年生まで拡大することを明言しています。また公立保育園を民営化しようとしている市に対し、公立の大切さを強調。保育の質を守るための「保育の質ガイドライン」の策定を求めてきました。保護者の頑張りで民営化は2度にわたり計画通り進められない事態に。保育計画・ガイドラインが策定されることになりました。

# 地域の声に、トコトコたえる

# ココバス改悪許さない

# 浴恩館公園の整備、交番に看板も

ココバスのルートや本数などを改悪する案が、昨年浮上しました。水上さんは市民と一緒に運動しました。その結果、武蔵小金井駅をはずすルート案は阻止されました。さらに本数などの改悪をやめさせ、便利な交通の確保に全力をあげます。

ココバスをぜひ守って  
——緑町 小林正夫さん  
ココバスをよくする会は、サービス拡充を求める陳情署名活動に取り組み、採択されました。水上さんは議会質問や市との懇談など協力してくれました。拡充のために頑張ってください。



▲市民のみなさんと一緒に市長に要望



▶市民の憩いの場となっている「浴恩館公園」その改修を市に求め、きれいになりました。(写真は野外調理場)



東小金井駅まえの交番、最初は駅から見て看板がなく交番とわからないことも。防犯上もよくないと市民から水上さんに相談がありました。水上さんは議会ですぐ対応を求めました。そうしたなか、市がまずガイドラインに看板を設置(上写真)。その後、大きな看板がつけました(下写真)。